

# 専門実践教育訓練明示書

2018.4.1

講座の名称	臨床工学学科													
実施方法	① 通学 ( <u>昼間</u> ) ・ 夜間 ・ 土日 ) ② 通信 スクーリング (回数 回)													
指定講座番号	9	3	0	0	9	—	1	5	1	0	0	1	—	5
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間				過去一 年の講 座実績	入講者数(46人)				修了者数 (40人)				
	平成1年 4月1日				2021年3月31日まで									
訓練期間	36ヶ月				総訓練時間				2,775時間					
1. 教育訓練目標														
①取得目標とする資格の名称、目標レベル					<input checked="" type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 ( 臨床工学技士 ) <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 ( ) <input type="checkbox"/> 専門職学位 ( ) <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム ( ) <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 ( )									
					教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等 ・第2種ME技術実力検定									
②①に係る資格・試験等の実施機関名称					厚生労働省									
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等					臨床工学技士法(昭和62年法律第60号)第14条第1項により指定を受けた本学院において、卒業単位(111単位)を修得し卒業が認定されること。									
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況					臨床工学技士 病院における臨床工学部門・人工透析部門・手術室・ICU・CCU・透析専門診療所、医療機器メーカーでの医療機器・保守点検業務等、医療・福祉業界で医療専門職として活用される。									
2. 教育訓練の内容														
教科 (カリキュラム)					時間			使用教材名						
生物化学					15 時間			「わかりやすい生化学 第5版」						
数学					30 時間			担当講師作成資料						
物理学					30 時間			担当講師作成資料						
英語					30 時間			The Hospital Team						
医学用語学					30 時間			「医療従事者のための医学英語入門」						
チーム医療論					15 時間			担当講師作成資料						
心理学					15 時間			「よくわかる心理学」						
文章学					15 時間			担当講師作成資料						
保健体育					60 時間			担当講師作成資料						
接遇マナー・人間学					30 時間			担当講師作成資料						
キャリア教育論					30 時間			担当講師作成資料						
公衆衛生学					15 時間			「シンプル衛生 公衆衛生学 2018」						
解剖生理					60 時間			「人体の構造と機能」						
病理学概論					30 時間			「シンプル病理学」						
基礎医学実習					30 時間			「わかって身につくバイタルサイン」						

医学概論	15 時間	担当講師作成資料
臨床生理学	60 時間	「臨床検査学講座 生理機能検査学」
臨床生化学	15 時間	「わかりやすい生化学 第5版」 「臨床工学技士標準テキスト 第3版」
臨床免疫学	30 時間	「臨床工学技士標準テキスト 第3版」
臨床薬理学	30 時間	「臨床工学技士標準テキスト 第3版」
臨床検査学	30 時間	担当講師作成資料
看護学概論	15 時間	担当講師作成資料
電気数理学	30 時間	「医療系資格試験のための電気」
応用数学	30 時間	担当講師作成資料
電気工学 I	30 時間	臨床工学講座 医用電気工学1 第2版
電気工学 II	30 時間	臨床工学講座 医用電気工学2 第2版
電子工学 I	30 時間	「電子回路」
電子工学 II	30 時間	「電子回路」
電気・電子工学総合実習	45 時間	担当講師作成資料
機械工学	30 時間	「機械工学概説」
理工学演習 I	30 時間	「医療系資格試験のための物理」
理工学演習 II	30 時間	「医療系資格試験のための電気」 「2018第2種ME技術実力検定試験全問解説」
理工学演習 III	30 時間	担当講師作成資料
システム・情報処理工学	60 時間	「臨床工学講座 医用情報処理工学」
システム・情報処理実習	45 時間	「医療系スタッフのための情報システム入門」
統計学	15 時間	担当講師作成資料
情報処理工学演習	30 時間	「臨床工学講座 医用情報処理工学」
医用生体工学概論	60 時間	「MEの基礎知識と安全管理」 「臨床工学技士標準テキスト 第3版」
臨床工学概論	30 時間	「臨床工学講座 医用機器安全管理学」第2版
物性工学	60 時間	「臨床工学講座 生体物性・医用材料工学」
材料工学	30 時間	「臨床工学講座 生体物性・医用材料工学」
計測工学	30 時間	「医用工学入門」
医用生体工学演習	30 時間	担当講師作成資料
医用治療機器学	60 時間	「臨床工学講座 医用治療機器学」 「MEの基礎知識と安全管理」
医用治療機器学実習	45 時間	「臨床工学講座 生体機能代行装置学・血液浄化療法装置」 「臨床工学講座 生体機能代行装置学・医用治療機器学」
画像診断機器学	30 時間	「画像診断装置学入門」
生体計測装置学 I	30 時間	「臨床工学講座 生体計測装置学」
生体計測装置学 II	60 時間	「臨床工学講座 生体計測装置学」
生体計測装置学実習	45 時間	「臨床検査学講座 生理機能検査学」 「臨床工学講座 生体計測装置学」
医用機器学演習	30 時間	担当講師作成資料

呼吸療法装置学Ⅰ	15 時間	「臨床工学技士標準テキスト 第3版」
呼吸療法装置学Ⅱ	30 時間	「臨床工学技士のための呼吸治療ガイドブック」
呼吸療法装置学Ⅲ	30 時間	「臨床工学講座 生体機能代行装置学 呼吸療法装置」
呼吸療法装置学実習	30 時間	「臨床工学講座 生体機能代行装置学 呼吸療法装置」
体外循環装置学Ⅰ	30 時間	「臨床工学技士標準テキスト 第3版」 「最新体外循環第2版 基本的知識と安全の確保」
体外循環装置学Ⅱ	15 時間	「病気がみえるVol.2 循環器第2版」 「最新体外循環第2版 基本的知識と安全の確保」
体外循環装置学Ⅲ	30 時間	「最新体外循環第2版 基本的知識と安全の確保」 「病気がみえるVol.2 循環器第2版」
体外循環装置学実習	30 時間	担当講師作成資料
血液浄化装置学Ⅰ	60 時間	「臨床工学講座 血液浄化療法装置」 「臨床工学技士標準テキスト 第3版」
血液浄化装置学Ⅱ	60 時間	「臨床工学技士標準テキスト 第3版」 「臨床工学講座 血液浄化療法装置」
血液浄化装置学実習	30 時間	担当講師作成資料
生体機能代行技術学演習	60 時間	「臨床工学講座 生体機能代行装置学・血液浄化療法装置」
医用機器安全管理学	60 時間	「臨床工学講座 医用機器安全管理学」第2版
医用機器安全管理学実習	45 時間	「臨床工学講座 医用機器安全管理学」第2版
関係法規	15 時間	「臨床工学講座 関係法規」
臨床工学演習	60 時間	「臨床工学講座 医用機器安全管理学」第2版
臨床技能実習	45 時間	「臨床工学講座 生体機能代行装置学・血液浄化療法装置」 「臨床工学講座 生体機能代行装置学・呼吸療法装置」
内科・外科学	30 時間	「系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論」
消化器科学	15 時間	「からだの地図帳」 「臨床工学技士標準テキスト 第3版」
呼吸器科学	30 時間	「系統看護学講座 成人看護学2 呼吸器」
循環器科学	30 時間	「系統看護学講座 成人看護学3 循環器」 「心電図モニター」
神経学	15 時間	「脳神経疾患ビジュアルブック」
血液感染学	15 時間	「系統看護学講座 専門基礎 微生物学」
腎・泌尿器科学	15 時間	「系統看護学講座 成人看護学8 腎・泌尿器」
代謝内分泌学	15 時間	「系統看護学講座 成人看護学6 内分泌・代謝」
麻酔・集中治療学	30 時間	担当講師作成資料
臨床実習	270 時間	
合 計	2,775 時間	

### 3. 受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）

①受講するに当たって必要な実務経験等	なし
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	高等学校を卒業した者、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（学校教育法施行規則第150条各号に定めた者）
③その他	なし

〔 特 記 事 項 〕

--

# 専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

## 4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

### (1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	40	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	43	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	38	人	受験率(③/②)	88.4	%
④ ③のうち合格者数	37	人	合格率(④/③)	97.4	%
⑤ ②(入講数)のうち就職者数 ※1	37	人			
⑥ ②(入講数)のうち在職者数 ※2	0	人			

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

### (2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	38	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	0			
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 学生	0	人	②B: 非就業者計	38
	5 求職中	0	人		
	6 その他(主婦、無職等)	38	人		
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	0
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	0	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	5	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	38
	2 希望の職種・業界で就職できる	22	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	1	人		
	4 趣味・教養に役立つ	4	人		
	5 その他の効果	4	人		
	6 特に効果はない	2	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	37	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	38
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	1	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	15	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	38
	2 おおむね満足	19	人		
	3 どちらとも言えない	4	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		

## 5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	各学年の教育課程の半期毎に、該当する期間に履習した全ての科目について試験を実施する。筆記試験、実技試験、課題レポート、小テスト、出席状況、授業への取り組み等を含めて総合的に評価する。 (シラバスに「成績評価の方法」として明示している。)
-------------------------------------	---

(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	
------------------------------------	--

# 専門実践教育訓練明示書

<b>6. 受講効果の把握方法</b>															
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	授業科目ごとにその授業時間数の2/3以上の出席(本学院学則第24条3項) 前期・後期に定期試験を実施し、学年平均成績が60点以上であること(本学院細則第11条)														
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	カリキュラムの進行に応じて講義主体の科目では、筆記試験を行い、知識習得度を確認している。実習主体の科目では、実技試験を行い技能の評価をし、知識や技能の習得度を確認している。 一定の評価に達しなかった者に対しては、再試験の実施や、課題等の追加などの個別指導を行っている。														
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	本学院所定の課程をすべて修了し、卒業試験に合格した者(本学院学則第26条) 卒業試験の合格は、平均成績が60点以上(本学院細則第15条)														
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	集大成としての臨床実習での実習指導者からの評価をはじめ、最終学年での全履修科目によって評価を行い、最終的に卒業試験により修了認定を行う。														
<b>7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法</b>															
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	学生からの質問等は随時受け付けている。それに加え、習得度・理解度が低いと思われる学生に対しては、早朝や放課後の時間帯を使って、グループ指導もしくは個別指導を行っている。														
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 <small>(例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)</small>	医療施設や医療機器メーカー等からの求人情報を学生掲示板へ常時掲示し、併せて毎日のホームルームで新規の求人情報を連絡している。 就職支援として面接指導・接遇マナー訓練・履歴書作成指導などを行っている。また、病院からの説明会も随時実施している。														
<b>8. その他の事項</b>															
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	医療法人 弘仁会 (代表者名: 理事長 池田宏伸)														
住所及び連絡先	〒861-8045 熊本県熊本市東区小山2丁目25-26 TEL 096-380-0033														
施設名称及び施設長名	熊本総合医療リハビリテーション学院 (施設長: 学院長 辻野智二)														
住所及び連絡先	〒861-8045 熊本県熊本市東区小山2丁目25-35 TEL 096-389-1133														
苦情受付者	氏名 鬼塚啓雅 所属 事務部 事務部長	事務担当者	氏名 原田美穂子 所属 事務部 学務課課長												
連絡先	TEL 096-389-1133	連絡先	TEL 096-380-0033												
専門実践教育訓練経費 支払い方法 ① 一括払 ② 分割払 ③ 両方可能 (2017年度の額です)	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		3,550,000 円												
	① 入学料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	400,000 円													
	② 受講料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	<table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>第1期</td><td>550,000 円</td></tr> <tr><td>第2期</td><td>500,000 円</td></tr> <tr><td>第3期</td><td>550,000 円</td></tr> <tr><td>第4期</td><td>500,000 円</td></tr> <tr><td>第5期</td><td>550,000 円</td></tr> <tr><td>第6期</td><td>500,000 円</td></tr> </table>	第1期	550,000 円	第2期	500,000 円	第3期	550,000 円	第4期	500,000 円	第5期	550,000 円	第6期	500,000 円	
第1期	550,000 円														
第2期	500,000 円														
第3期	550,000 円														
第4期	500,000 円														
第5期	550,000 円														
第6期	500,000 円														
		(うち、必須教材費 0 円)													
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		223,413 円												
	① 任意の教材費(税込額)	140,423 円													
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	0 円													
	③ 施設維持費(税込額)	0 円													
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代)(税込額)	82,990 円													
	3. 総額 (1+2) (税込額)		3,773,413 円												